【作成例】

* この成果報告書は、第三者が開発成果を十分に理解できるよう、

開発した内容と成果の特徴等をわかり易く記述してください。

20\*\*情財第\*\*\*号

20\*\*年度未踏IT人材発掘・育成事業

（プロジェクト名）

成果報告書

2行目以降は複数クリエータの

プロジェクトの場合に記載

クリエータ ： ○○ ○○

 △△ △△

 □□ □□

担当PM ： ○○ ○○

20\*\*年\*\*月\*\*日

目次

1． 要約 3

2． 背景及び目的 3

3． プロジェクト概要 3

4． 開発内容 3

4．1． ○○○○○ 3

4．2． □□□□□ 3

4．3． △△△△△ 3

5． 開発成果の特徴 3

6． 今後の課題、展望 3

7． 実施計画書内容との相違点 4

8． 開発分担 4

9． 成長の自己分析 4

10． 秘匿ノウハウの指定 4

11． その他 4

12． 付録 4

# 要約

* 150～200字程度で本プロジェクトの開発成果の要旨（『何ができたか？』、『何を開発したか？』）を記述してください。

# 背景及び目的

* 本プロジェクトを実施する以前の状況・背景とプロジェクト実施の目的とを記述し、背景にある問題をどのように解決あるいは変化させたいかを明らかにしてください。

目標と結果の概要

# プロジェクト概要

* 本プロジェクトで①どんなソフトウェアまたはシステムを開発するのか（目標とする機能・性能やその実現手段など）と、②開発結果としてどこまで実現できたのかなど、開発テーマの概要となる点を『**簡潔に記述**』してください。
* 本項はプロジェクトの目標と結果の概要をわかり易くまとめるものであり、開発内容・結果の詳細については、下記の「4．開発内容」で記述してください。

開発内容（項目）と各開発結果の詳細な説明

# 開発内容

* 本プロジェクトの開発内容について、開発機能の項目毎、あるいは設計・実装・テスト・評価等の項目毎に分割し、どのような開発・取組をしたのかとその結果などを図・表・サンプル画面等を付加して『**詳細に記述**』してください。
* この「4．開発内容」で本プロジェクトの開発内容がわかり易く、かつ具体的に記述されていない場合は、成果報告書の修正をしてもらう場合があります。

## ○○○○○

## □□□□□

## △△△△△

# 開発成果の特徴

* 開発成果のアピールポイント・特徴をわかり易く簡潔にまとめてください。
* 既存の技術や製品と比較することが可能であれば、既存の技術・製品と開発成果とを対比させて記述してください。

# 今後の課題、展望

* 本開発後に残っている課題とその課題に対する今後の取り組み、および開発成果の普及や実用化に関する予定や計画について記述してください。

# 実施計画書内容との相違点

* 本プロジェクトの開発結果について、実施計画書に記載の開発内容と比較して、計画より進んだ部分、計画通りに進まなかった部分、あるいは変更箇所について記述してください。
* 実施計画書と相違がない場合は、『実施計画書内容と相違なし』と記載してください。

複数名のクリエータによるプロジェクトの場合のみ記述

# 開発分担

* 本プロジェクトの開発において誰が何を担当あるいは何を実施したのか、その開発分担を記述してください。

# 成長の自己分析

* 本プロジェクトの開発を経てどのような成長を果たせたのかの自己分析を、技術力、コミュニケーション能力など、多様な観点で具体的に記述してください。
* クリエータが複数名の場合は、それぞれ別個に記述してください。

該当者のみ記述

# 秘匿ノウハウの指定

* この成果報告書（本報告書）に記載された内容の中に秘匿すべきノウハウに該当するものがある場合は、その該当範囲・理由・期間を記述してください。
* 該当範囲は、「4．2．□□□□□」等のように、本成果報告書の該当部分の項番を含めて具体的に記述してください（範囲不明確な場合は、指定対象外とします）。

（例）4．2．□□□□□の項が秘匿ノウハウ

理由：上記部分の特許出願を予定しているため（○○年○月頃出願予定）

期間：委託業務期間完了後5年間

* 上記で指定された秘匿ノウハウの取扱いについては、IPAとクリエータ間で別途協議の上、秘匿期間を含めた取扱い詳細を決定しますが、期間については、原則、委託業務期間終了後5年以内で記述してください。
* また、各PMに各プロジェクトの開発内容や評価結果をまとめてもらい未踏Webサイトで公開しますので、各PMには秘匿ノウハウの有無・内容を、別途、詳細に連絡してください。

その他特記しておくべき事項等：該当者のみ記述

# その他

用語説明、関連Webサイト、等

# 付録

1. 用語説明
* 第三者が成果報告書を読んで理解できるよう、成果報告書で使用している略語・新語などの用語の説明を記述してください。
1. 関連Webサイト
* 開発成果を公開しているWebサイトや、開発成果に関わるWebサイトがあれば、（本文中に記載の場合も）本項にそのURLを必ず記述してください。